

TOM'S 51410-TSH35-# クラウン クロスオーバー フロントディフューザー

取付・取扱用説明書

この度はトムス フロントディフューザー（以下ディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品の取付け方法を以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。

本取付説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に取付けを行ってください。

本書（取付 / 取扱説明書）は、必ずご使用になるお客様へお渡しください。

■品番・適合車種：本製品は以下の車種に対応しています。（2023年5月）

品番	塗装色	備考
51410-TSH35-B	ブラック< 202>	R4.9～ トヨタ クラウン TZSH35/AZSH35
51410-TSH35-Z	素地	トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

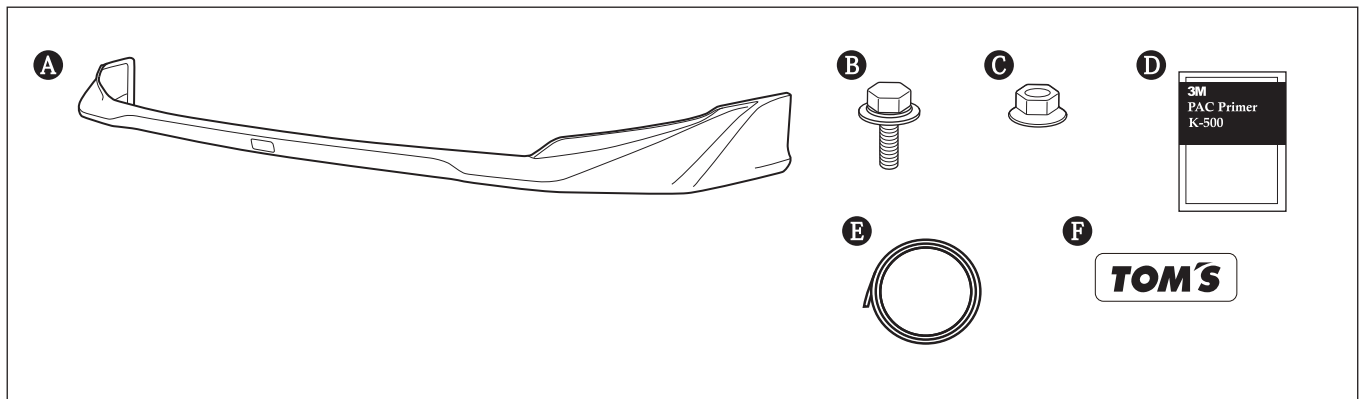
※最新の適合情報は、ウェブサイトをご参照ください。（<https://www.tomsracing.co.jp/>）

■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

No.	品名	個数	備考
A	ディフューザー	1	
B	アブセットボルト（M5×15mm）	5	
C	フランジナット（M5）	5	
D	プライマー K-500	1	
E	両面テープ（1.2mm×10mm×3m）	1	
F	エンブレム	1	

※本製品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることをご確認ください。

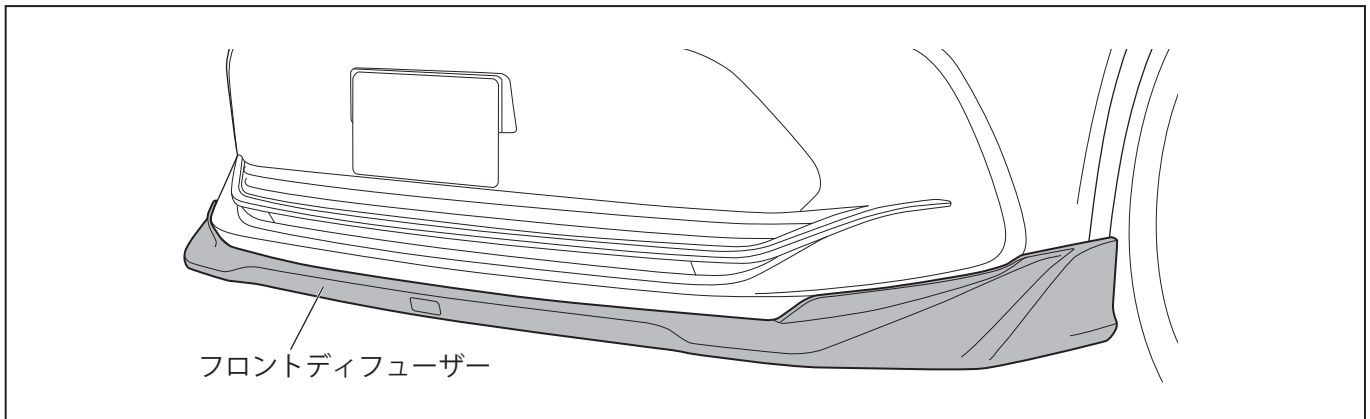
■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター・キリなど）・ヤスリ
- ・電動ドリル（刃：6.0mm）・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護（養生）テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）
- ・清潔なウエス

■取付構成図



■取付時のご注意（取付作業の方へ）：作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

**警告**

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険、または、重大な傷害などを負う可能性がある内容について記載しています。

**注意**

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと、事故に繋がったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがある事を記載しています。

**注意**

取付け前（素地品は塗装前）に、必ず製品をご確認ください。
取付け後（または塗装後）は交換等に応じられません。

**アドバイス**

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

⊘ やってはいけないこと ⚠ 必ず行っていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造、加工及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので、絶対に行わないでください。
- ❶ 本製品を取付け、交換は、当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱）に従い、かつ本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❶ 取付けは規定トルクに従って、確実に締め付けをしてください。締め付けが足りないと脱落などにより、重大な事故や故障を招く恐れがあります。

注意

- ❶ 本製品を取付け前に、構成部品（P1の表参照）が全て揃っていること、損傷や不具合などがないかを確認してください。塗装後、取付け後に発覚した損傷や不具合に対するクレームには応じられない場合があります。
- ❶ 本製品の取付けは、必ず作業員2名で行ってください。

脱脂作業について

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用して確実な脱脂を行ってください。
- ❶ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49 N（5kgf/cm²）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後3～5時間程度は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

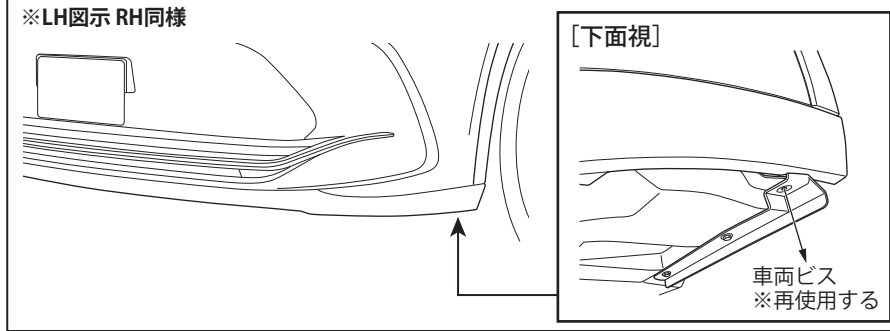
- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❶ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❶ 塗装乾燥の加熱温度は必ず40℃以下で行ってください。40℃以上の加熱は製品が変形する恐れがあります。

取付けが終わったら

- ❶ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
- ❶ 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■フロントディフューザーの取付け

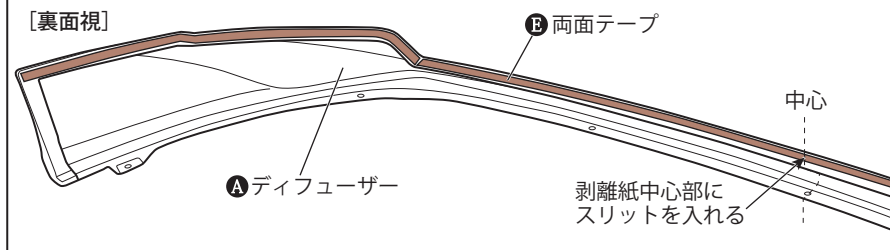
※LH図示 RH同様



- ①フロントバンパー下面左右の車両ビスを
取外します。
※取り外したビスは再利用します。

※LH図示 RH同様

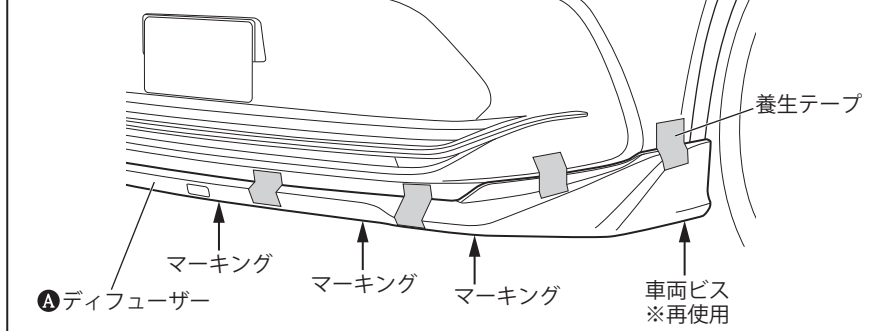
[裏面視]



注意

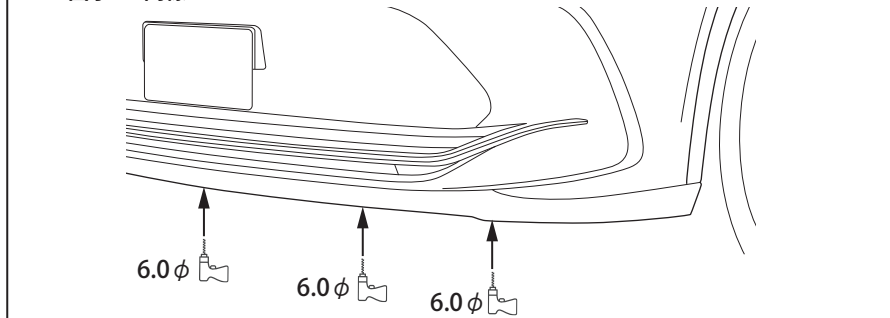
両面テープ貼り付け箇所をホワイトガソリン、イ
ソプロピルアルコール (IPA) で脱脂し、①ブラ
イマーを塗布すること。
また、装着時に両面テープが見えないよう①ディ
フューザー末端から3mm程あけて貼り付ける

※LH図示 RH同様



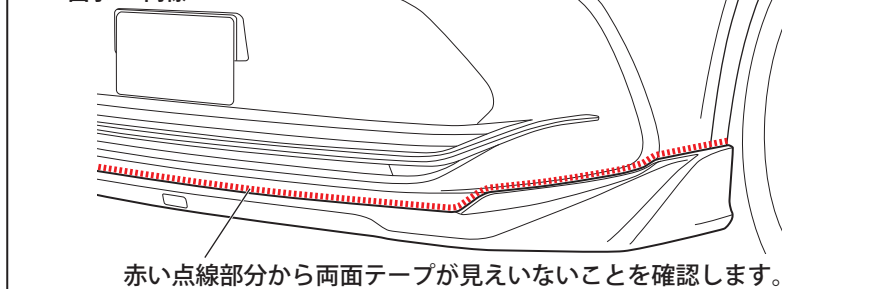
- ④ ①ディフューザー下面の穴位置に合わ
せてフロントバンパー下面に穴あけ位
置を5ヶ所マーキングします。
マーキング後、①ディフューザーを取
外します。

※LH図示 RH同様



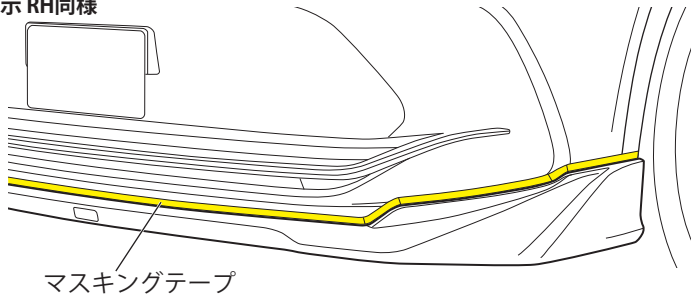
- ⑤ ①ディフューザーを取外し、マーキ
ング位置にドリルを使用し6.0φの穴を
5ヶ所あけてください。
穴あけ後は加工穴周囲のバリを除去し
てください。

※LH図示 RH同様



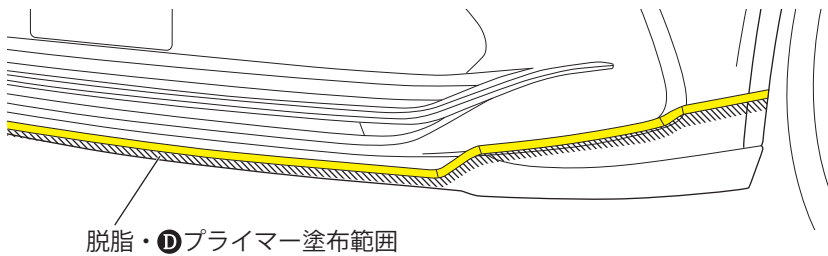
- ⑥ ①ディフューザーを再度仮あてし、②
両面テープの貼り付け面が正面から見
えていないことを確認します。

※LH図示 RH同様



- ⑦ **A**ディフューザーの上端に合わせてフロントバンパーにマスキングテープを貼り付けます。
マスキングテープ貼り付け後、**A**ディフューザーを取外します。

※LH図示 RH同様



- ⑧ 左図斜線部の**D**両面テープ貼り付け面を脱脂後、**D**プライマーを塗布します。塗布後、マスキングテープを剥がしてください。

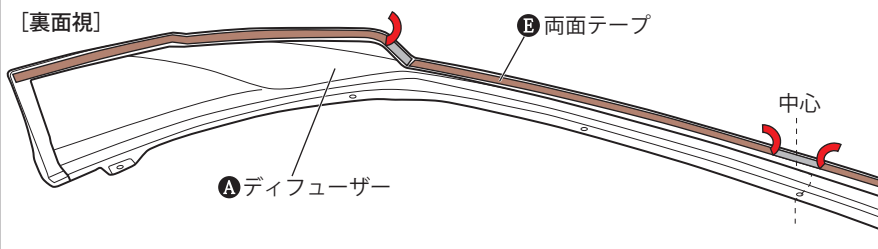


注意

プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

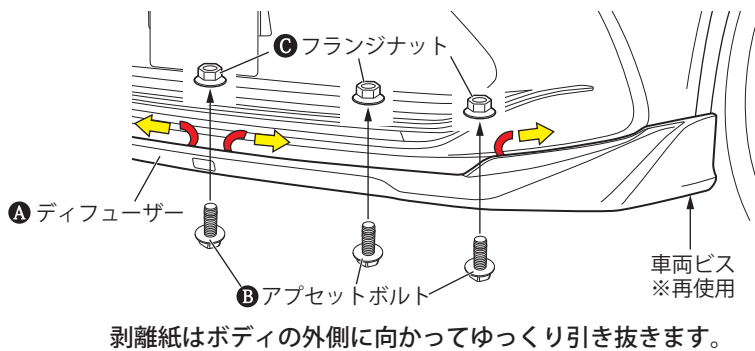
※LH図示 RH同様

[裏面視]



- ⑨ ②で貼り付けた**B**両面テープの剥離紙を少しだけ剥がし、ディフューザーの外側に引き出しておきます。

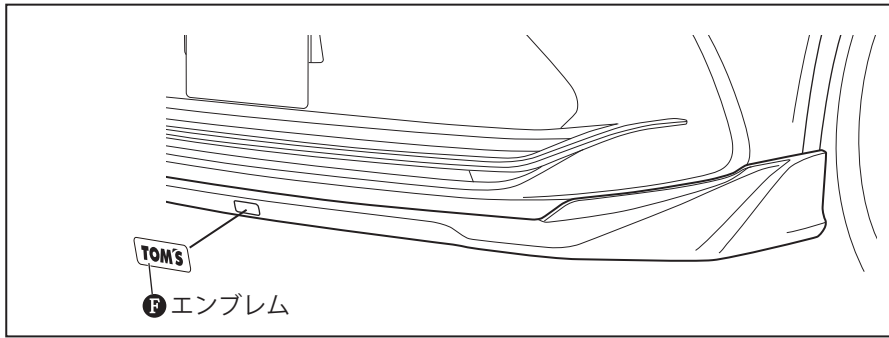
※LH図示 RH同様



- ⑩ **A**ディフューザーを車両に仮合わせし、**D**で取外した車両ビス、**B**アプセットボルト、**C**フランジナットで下面を仮止めます。
各部位に隙間等問題が無いことを確認して剥離紙を左図矢印の方向へ引き抜きながら両面テープを圧着します。

両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm²)】で行ってください。目安としては、車両が少しゆれる程度です。
両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着してください。

- ⑪ ⑩で仮止めた取外した車両ビス、**B**アプセットボルト、**C**フランジナットを本締めします。



- ⑪ **A**ディフューザーの**F**エンブレム貼り付け部を脱脂した後、**F**エンブレムを貼り付けてください。

■取付け完了後の確認、点検、及び注意事項



注意

- 1: **A**ディフューザーが車両に確実に取付けられているかを点検する。
- 2: 製品全体に、浮き、剥がれの無いことを確認、点検する。

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。最低3時間程度洗車はせず、また強い振動や風圧がかからないよう、静止時間を確保してください。圧着が不十分な場合、浮きや剥がれなどの原因となり脱落などが発生し、大事故につながる恐れがあります。

■フロントディフューザー素地品の塗装手順

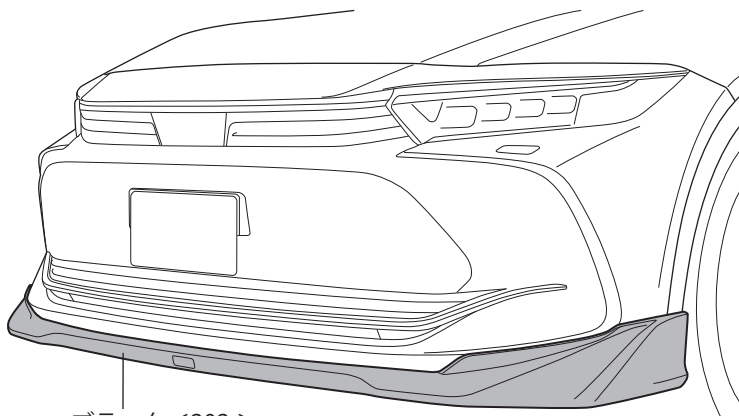


注意

素地品は塗装前に必ず仮合わせをして、各部に不具合がないかを確認してください。

塗装後の交換には応じられません。

- ① 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリ取り除いてください。
- ② 塗装ムラ、ピンホールの発生を防ぐため、塗装前に水研ぎ（ゲルコート的光沢が消えるまで）を行い、足づけを行ってください。
- ③ ホワイトガソリンやイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、塗装面を丁寧に脱脂した後、サフェーサー処理を施します。
- ④ 塗装を施します。塗装乾燥の加熱温度は、製品変形の恐れがあるため、40度以下で行ってください。



〈塗装の参考例〉

- ① フロントディフューザー → ブラック<202>

※上記は当社デモカーを基準とした塗装指示となります。



注意

本製品はFRP製です。適切な塗料、方法にて塗装を行ってください。

TOM'S INC.

株式会社トムス 〒158-0082 東京都世田谷区等々力 6-13-10
 ■お問合せ先 TEL: : 03-3704-6191 FAX: 03-3704-9486
www.tomsracing.co.jp



TOM'S